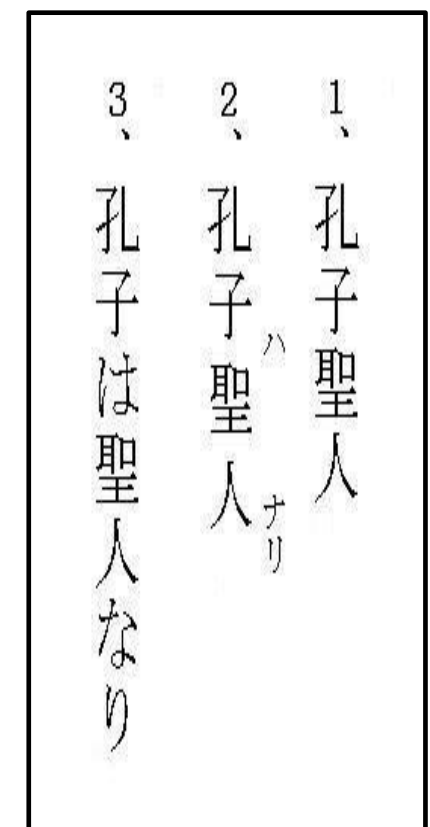


漢文の種類

漢文には次の三種類があります。



(1) 白文

もともとの文です。つまり中国語です。

(2) 訓読文

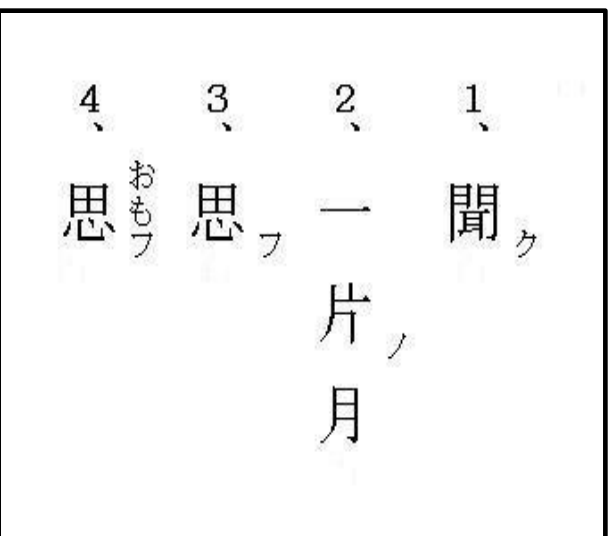
日本語として読みやすくするために、送り仮名や返り点をつけた文です。なお、上の文には返り点はついていません。

(3) 書き下し文

訓読文を漢字と平仮名で書き改めた文です。原則として訓読文の送り仮名が平仮名になります。こちらは完全な日本語です。

送り仮名

送り仮名には次のような規則があります。上の画像を参照しながらお読みください。



・漢字の右下に片仮名で書く

・送り仮名になるのは活用語尾や助詞など

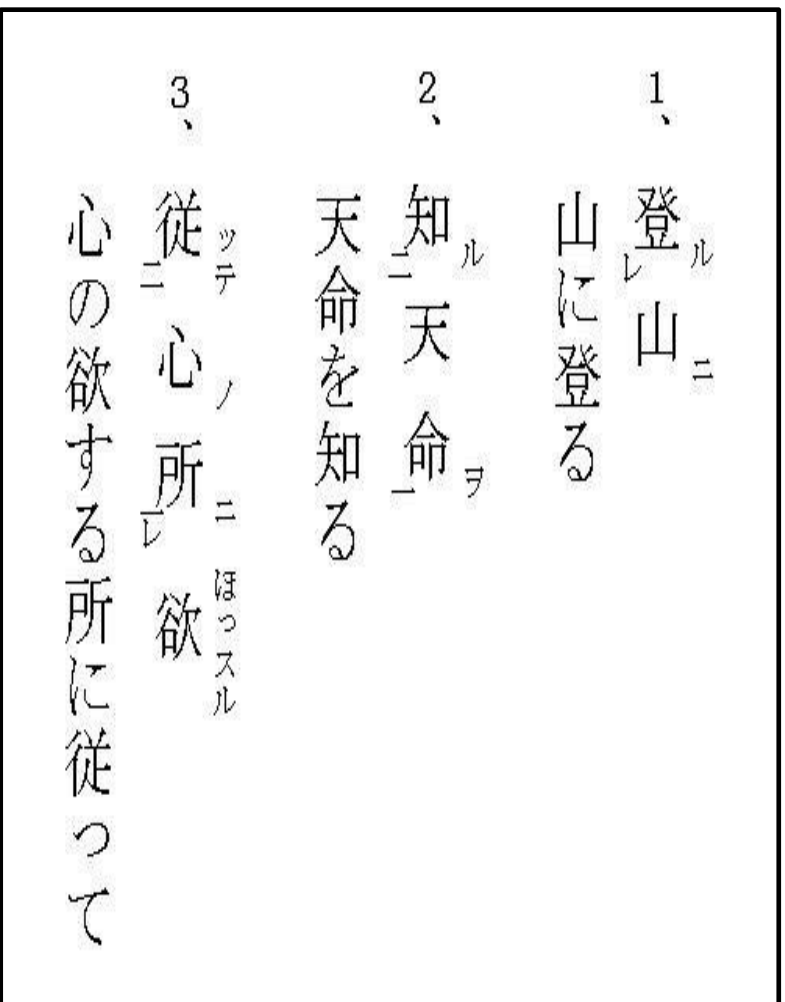
・歴史的仮名遣いで書く

漢字に振り仮名をつけるときは平仮名で書きます。

返り点

漢文は原則として上から下へ読んでいきます。しかし、日本語とは異なる言語ですので、日本語らしく読むためには、どうしても読む順番を変えて下から上に戻らなければならないところも出てきます。

それを指示するのが「返り点」です。中学で学ぶ返り点は「し点」と「二点」の二種類です。返り点は字の左下に付けます。



(1) し点

一字下から上に戻れ、という意味です。つまり、し点の付いた字は、一字下の字を読んではないと読めません。

(2) 二点

二字以上間をあけて、下から上に戻れ、という意味です。つまり、二点の付いた字は、一点の付いた字を読んではないと読めません。

(3) し点と二点の組み合わせ

これ以外にし点と一点の組み合わせがあります。やや難しいので具体的に説明します。

まず「所」に付いたし点の指示に従って一字下の「欲」を読んでから「所」を読み、続いて「所」に付いた一点の指示で、二点の付いた「從」を読みます。

練習問題

問題

では、返り点を付けた文を順番通り読む練習をしましょう。

5	4	3	2	1	例
○	○	○	○	○	⑤
○	○	○	○	○	①
○	○	○	○	○	③
○	○	○	○	○	②
○	○	○	○	○	④
○	○	○	○	○	⑥

例のように1〜5の○に数字を入れてください。上から下へ読むのが原則です。返り点の付いていない字と一点だけの付いた字は優先して読みます。

ただし、一点の付いた字は、読むと続けて二点の付いた字を読まなければなりません。

解答

最初の数字が文頭、最後の数字が文末を表します。

- 1) 1'3'2'5'4'6
- 2) 6'1'2'4'3'5
- 3) 2'1'5'4'3'6
- 4) 1'5'4'2'3'6
- 5) 6'1'3'2'5'4

なお、5)は難しいので、説明します。1番目の字は二点が付いているので、一点を読んでからでないと読めません。2番目の字は何も付いていないので、優先して読めます(1確定)。3番目の字はし点が付いていますので、その下の字を読んでからでないと読めません。4番目の字は何も付いていないので、優先して読めます(2確定)。

4番目の字から3番目の字のし点の指示に従って3番目の字を読みます(3確定)。5番目の字は、一点とし点が付いていますが、まずし点の指示に従って、その下の字を読んでから読むことになります。6番目の字は何も付いていないので、優先して読めます(4確定)。

6番目の字から5番目の字のし点の指示に従って5番目の字を読みます(5確定)。今度はその字の一点の指示に従って、二点の付いた1番目の字を読みます(6確定)。

「漢文」とは、中国の文語文のこと。

●漢文の特徴

- ① 言葉の響きが力強い。
- ② 簡潔ではっきりしている。
- ③ 漢字そのものに形象的な美しさがある。

白文・訓読文・書き下し文とは？

	漢字のみが、並んでいる、もとのままの漢文。 【例】良 薬 苦 於 □。
	白文に訓点をつけて読み方を示したもの。 【例】良 薬 苦 於 □。
	日本語に書き改めたもの。 【例】良薬は口じ苦じ。 (りやくはくじくじがくじ)

送り仮名

用言の活用語尾・助動詞・助詞をカタカナで漢字の右下に補ったもの。

句読点

句点は、文の終わり、読点は、文の途中の意味の切れ目を示す。

返り点

漢字の左下につけ、読む順序を表す。

★し点

下の一字を先に読み上に返る。

★一・二点

下の二字以上を先に読んで上に返る。

★上・下点

一・二の字を先に読んで下に返る。